

【技術的対話による企画競争の公表】

令和6年1月31日

調達方法	技術的対話による企画競争
調達件名	診療報酬改定 DX おける共通算定モジュール設計・開発及び運用・保守業務一式
契約予定事業者	フューチャーアーキテクト株式会社（代表企業）、日本医師会 ORCA 管理機構株式会社
調達部署	社会保険診療報酬支払基金 審査支払システム共同開発準備室
公告日	令和5年9月26日
説明会	令和5年10月2日
企画提案書提出日	令和5年10月26日（契約予定事業者からの提出日）
1次審査期間	令和5年10月26日～令和5年11月7日（11日間）
技術的対話期間	令和5年11月17日～令和5年12月26日（40日間）
改善提案書提出日	令和6年1月16日（契約予定事業者からの提出日）
最終決定日	令和6年1月31日
仕様書確定版提示日	令和6年1月31日（契約予定事業者への提示日）
契約日（予定日）	令和6年3月5日頃

《最終結果》

対話対象者の選定（事前審査）	提案書の提出事業者 2社（合格2社）
対話後の改善提案書の審査結果	フューチャーアーキテクト株式会社（代表企業）、日本医師会 ORCA 管理機構株式会社 総合点 3,661点 優先交渉権者 B社 総合点 3,325点 交渉権者
最終の技術的対話	優先交渉者であるフューチャーアーキテクト株式会社（代表企業）、日本医師会 ORCA 管理機構株式会社と最終の交渉等の結果、合意ができたため、契約予定事業者とする。

《フューチャーアーキテクト株式会社（代表企業）、日本医師会 ORCA 管理機構株式会社との技術的対話の過程》

技術的対話の時期と回数	令和5年11月17日～12月21日まで6回実施
発注者から提案者への改善要望	① 既存レセプトコンピュータ（レガシーアプリケーション）を流用する開発方針について、リライトによるモダンアプリケーション開発とするよう、改善要望を行った。 ② 病院向けの DPC 計算機能の開発について、参加企業の知見を補完するための開発体制の強化と実装の具体化について、改善要望を行った。 ③ データ管理領域について、運用コストを考慮しつつ、2次利用を想定して、RDB に代えて KVS を採用することの妥当性の検証と提案を要望した。

<p>発注者の改善要望に対する提案者からの改善提案</p>	<p>① 既存レセプトコンピュータにとらわれず、リライトとモダンアプリケーション化を行う開発方針とする旨の改善の提案がされた。</p> <p>② DPC のレセプトコンピュータの導入実績を有する開発企業の知見の活用など、病院向け DPC 計算機能の開発体制の強化と実装の具体化についての改善の提案がされた。</p> <p>③ データ管理領域について、運用コストや2次利用を考慮して、KVSを活用した実装方法の採用について改善の提案がされた。</p>
-------------------------------	--

《その他》

<p>厚生労働省、デジタル庁、国民健康保険中央会、支払基金の評価</p>	<p>本調達は、最適なシステム構成や開発・実装方法、機能の要件、モデル事業の内容等について、提案者との対話を通じて、より良い内容を決めていくため、技術的対話による企画競争を採用した。提案者との対話を通じて、システム構成や機能の要件等について、発注者の問題意識や要望を伝え、双方で納得と理解を深めるとともに、プロジェクト遂行に資する改善の提案がされた。</p> <p>今後、技術的対話に提案者がより参加しやすくなるようにする観点から、対話の実施期間や検討した成果物への対価のあり方を含め、対話の方法について引き続き検討する必要がある。</p>
--------------------------------------	--